

1. 目的

米などの食料品価格上昇に伴う物価高の影響への対策として、経済的に困窮した学生等の食費を支援する大学等に対して、当該支援に係る事業費の一部の額を助成し、もって各大学等が独自に支援を実施する取組みを推進することを目的として実施。

2. 概要

- (1) 助成規模 約4億円 (従来から受け入れてきた「学生支援寄附金」を原資とするもの)
- (2) 実施時期 2025年4月～2025年12月
- (3) 対象の学校種別 大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程、日本語教育機関、外国大学日本校
- (4) 対象事業 物価高の影響により経済的に困窮している学生等に対する食費の支援
(食料品の現物支給のほか、食料品を買うための金券類、学内の食堂や売店で使用できるチケット等の支給等が対象)
- (5) 助成額 1校あたり100万円以下 (支援事業を実施するために必要な経費の2分の1以内)
- (6) 学校から学生への助成方法
食費に充てられる金銭又はこれに類するもの、食品の現物支給 (学生一人あたりに対する支援額は上限1万円)

3. 支給実績

対象となる学校 4,439校のうち、628校に助成した。

(内訳)大学 241校、短期大学 64校、高等専門学校 1校、専修学校専門課程 185校、日本語教育機関 136校、外国大学日本校 1校

助成金による学生等への支給実績：約3.4億円 (参考) 学校からの申請額計：約3.6億円

4. 実施結果 ※学校における主な取組の例

① 現物支給による支援

ex) 「お弁当の支給」、「米、カップ麺、レトルト食品、缶詰、野菜、果物の支給」等

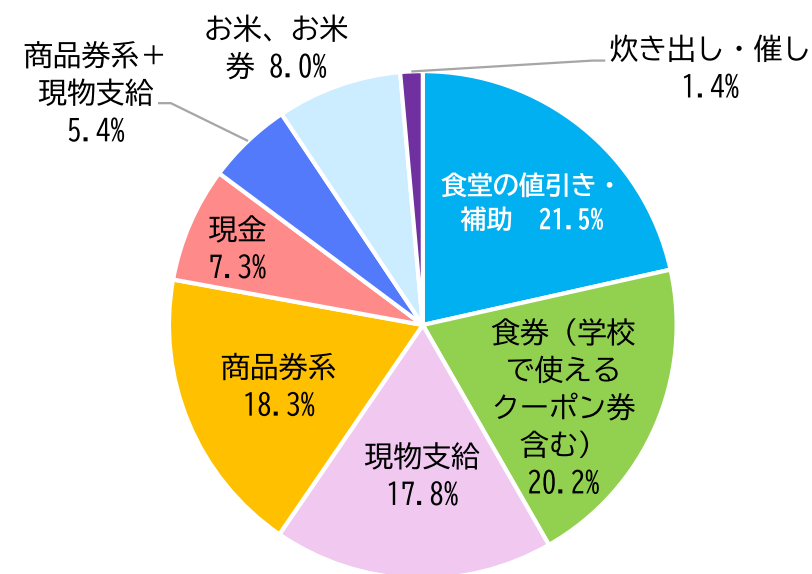
② 食堂支援による支援

ex) 「学生食堂の食券の支給」「特別価格の食事の提供」「朝食（無料/100円朝食）の提供」等

③ 現金、金券配付による支援

ex) 「大学生協食堂使用できる電子マネーチャージ」「食品スーパーで使用できるプリペイドカード配付」等

支援内容	校数	割合
■ 食堂の値引き・補助	135	21.5%
■ 食券（学校で使えるクーポン券を含む）	127	20.2%
■ 現物支給	112	17.8%
■ 商品券系	115	18.3%
■ 現金	46	7.3%
■ 商品券系＋現物支給	34	5.4%
■ お米、お米券	50	8.0%
■ 炊き出し・催し	9	1.4%
合計	628	100.0%

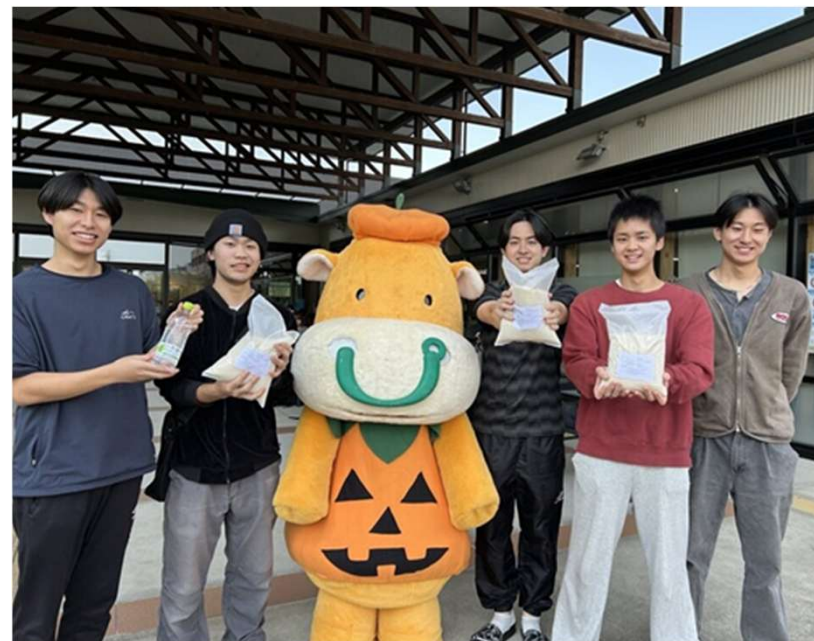


5. 支援を受けた学生等からの声

- お米が非常に高かったのでありがたいです。
- 最近はお米の価格が高く買い控えていたので、今回の無料配付は大変助かりました。食費の不安が軽減され、勉強に集中できる時間を確保することができています。学生の生活に寄り添った温かいご支援をいただき、心から感謝しています。
- 物価高により学食利用を控えざるを得なかったため、このような支援をしていただきとてもありがたいです。
- 両親からの支援が無く、バイト代で生活費を賄っていたのでお腹いっぱいお米が食べることができ、幸せです。ありがとうございます！恩返しができるように研究に注力したいと思います。
- 食べ物の値段が高くなっているのので、乾麺や、缶詰などすぐに食べられるものがもらえて助かった。
- 親元を離れて一人暮らしのため、本当にありがたく励みになりました。



関西福祉科学大学 食品詰合せを配付



宮崎大学 農学部で実習生産したお米を配付

6. 学校からの声

- 学生一人に対する支援額は多くなかったのですがとても喜んでおり、学生の生活にも物価高騰の影響が大きいことがわかりました。ご支援いただきありがとうございました。
- 学生が経済的負担の軽減を感じただけでなく、「大学が学生を気にかけてくれている」という心理的効果を感じた学生がいることも判明した点も好感できる。
- 普段、食堂でご飯を食べていない学生が、食堂を利用していたことで、今後の食生活の向上の一助になったのだろうと思われる。
- 寄付してくださった方々に心から感謝するばかりです。アルバイトしていた時間を勉学の時間に変えることができたという学生が複数いました。ありがとうございました。



大分大学 学食の割引



福井大学 お米とレトルト食品を配付



関西女子短期大学 食の支援事業のポスター

ご紹介したほかにも、たくさんの感謝の声が寄せられました。

JASSOに寄附してくださった皆様、ご協力いただいた学校関係者の皆様、ありがとうございました。